HOKUSHO UNIVERSITY

SCHOOL OF EDUCATION AND CULTURE

DEPARTMENT OF ART AND DESIGN

ARTS | MEDIA DESIGN | INTERIOR DESIGN | FASHION ART | PERFORMING ARTS

北翔大学　教育文化学部　芸術学科

www.hokusho-art.com

Art&Design

HOKUSHO ART

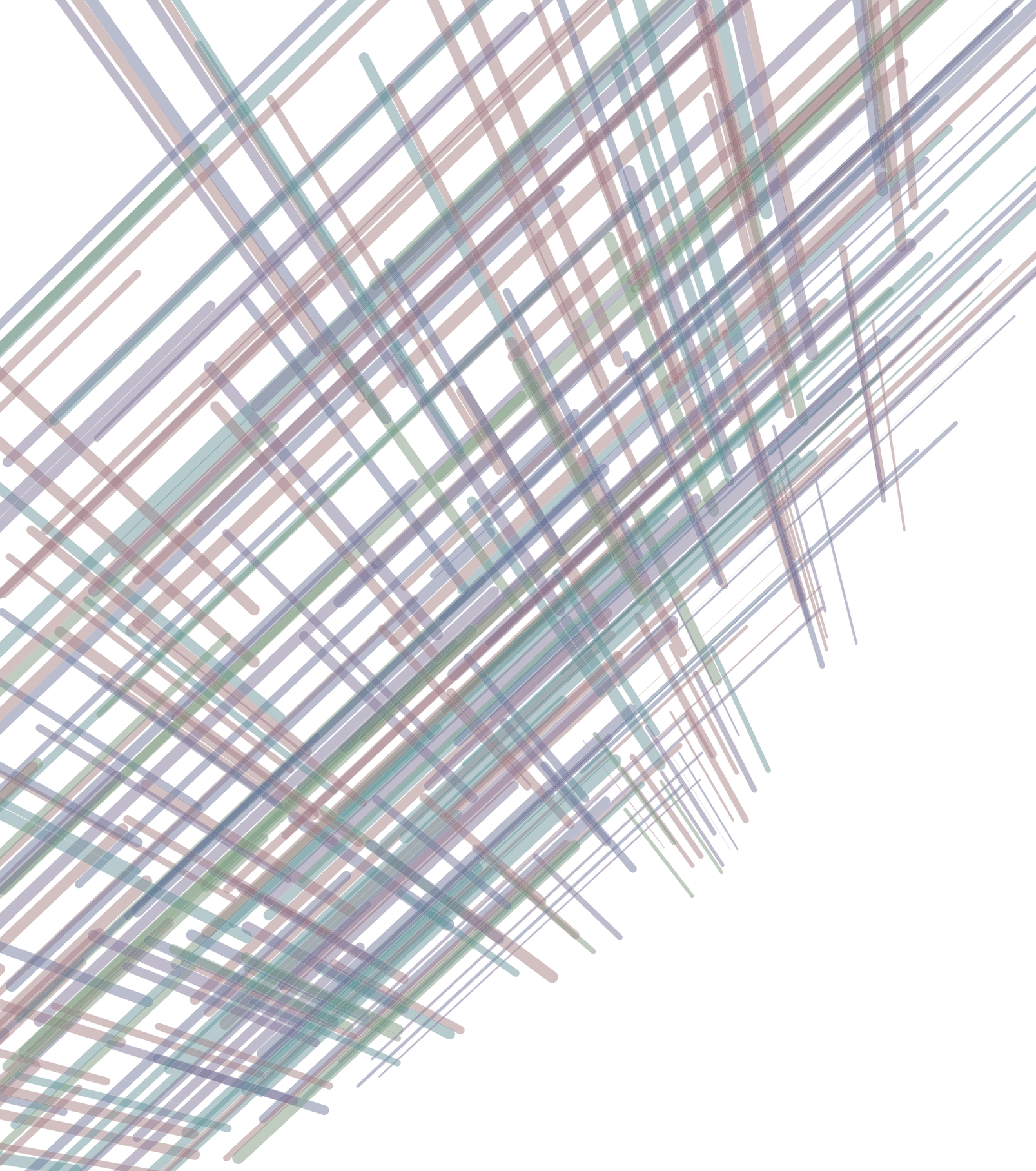
Twitter

Facebook

Instagram

YouTube

〒069-8511 北海道江別市文京台23番地
Tel 011. 386. 8011（代） Fax 011. 387. 1542
info@hokusho-u.ac.jp



多様なヒト・モノ・コトと出会い、
高めあう、創作の総合力。
それは「将来」を自作できる力。

鉛筆で、カーソルで、最初の線を引く。
作品が完成するまでの、長い旅が始まる瞬間。
とはいえ、それが創作の本当のスタート地点でしょうか。
「どんな作品にするのか」という発想が先になければ、
最初の線を引くことはできないはずです。

発想をカタチにするためのスキルは、もちろん大切。
でも発想自体を生み出す力は、もっと大切。
北翔大学の芸術学科は、そのように考えます。

では、発想とはどこからやってくるのか。
それは、より多くのヒト・モノ・コトにふれる経験からです。
経験を通じて得られる広い視野と柔軟な思考力こそが、
自由な発想を生み出すためには欠かせないのです。

5つの幅広い芸術分野を擁する本学科では、
1分野を深く追究することも、
複数分野をクロスオーバーさせて学ぶこともできます。
どちらの場合も、多様なヒト・モノ・コトと向き合ってください。
他分野の教員や仲間たちと学内外で学びあい、
知らなかったことを知り、驚き、刺激を受けることによって、
あなたが生み出せる発想の幅はどんどん広がっていきます。

もちろん、生まれた発想を作品として定着させるための
デッサン力や各種アプリケーションを使いこなす力、
さらには空間構成力や縫製技術、演技力などの各種スキルも
しっかりと養うことができます。

発想を生み、理想のカタチを完成させるまでの創作の総合力を、
北翔大学の芸術学科で自分のものにしてください。
それは、「自分の将来」を自作するための力でもあるのですから。

学びのフロー

EDUCATION FLOW

「好き」だけでは終わらせない、

多様で柔軟な知識・技術を

着実に身につけるための4年間。

FIELDS 5つの分野

芸術学科には、5つの芸術分野があり（美術、メディアデザイン、インテリア建築、服飾美術、舞台芸術）、「1つの分野を究めたい」という思いにも、「複数分野にふれて見識を広げたい」という思いにも応えられる体制を整えています。

FUSION 5分野の融合

「1つの分野を究めたい」という学生にとっても、他分野を知ることが専門性を深めるために有効です。そこで1・2年次には、すべての学生が複数分野を融合して学べる基礎科目を編成するとともに、異なる分野の教員2名がガイダンスティーチャー（担任）となって視野の広い学びを支えます。また、2年次に新設された「総合演習Ⅰ・Ⅱ」では、3年次に配置される研究領域から興味・関心のあるものを選んで学んでいきます。

SITUATIONS 活用の場面

芸術5分野の学びの先には、知識・技術を活かせる多様な場面が存在します。2021年度からはその大枠を5つのシチュエーション（活用の場面）として分類し、めざす職業のイメージにつなげます。

① アート　「アーティストになりたい！」「美術の先生になりたい！」
② 生活デザイン　「生活に必要なものを生み出したい！」
③ 情報デザイン　「画面を通して伝えられる情報をデザインしたい！」
④ 社会デザイン　「新しい社会をデザインしたい！」
⑤ ステージデザイン　「舞台空間をデザインしたい！」

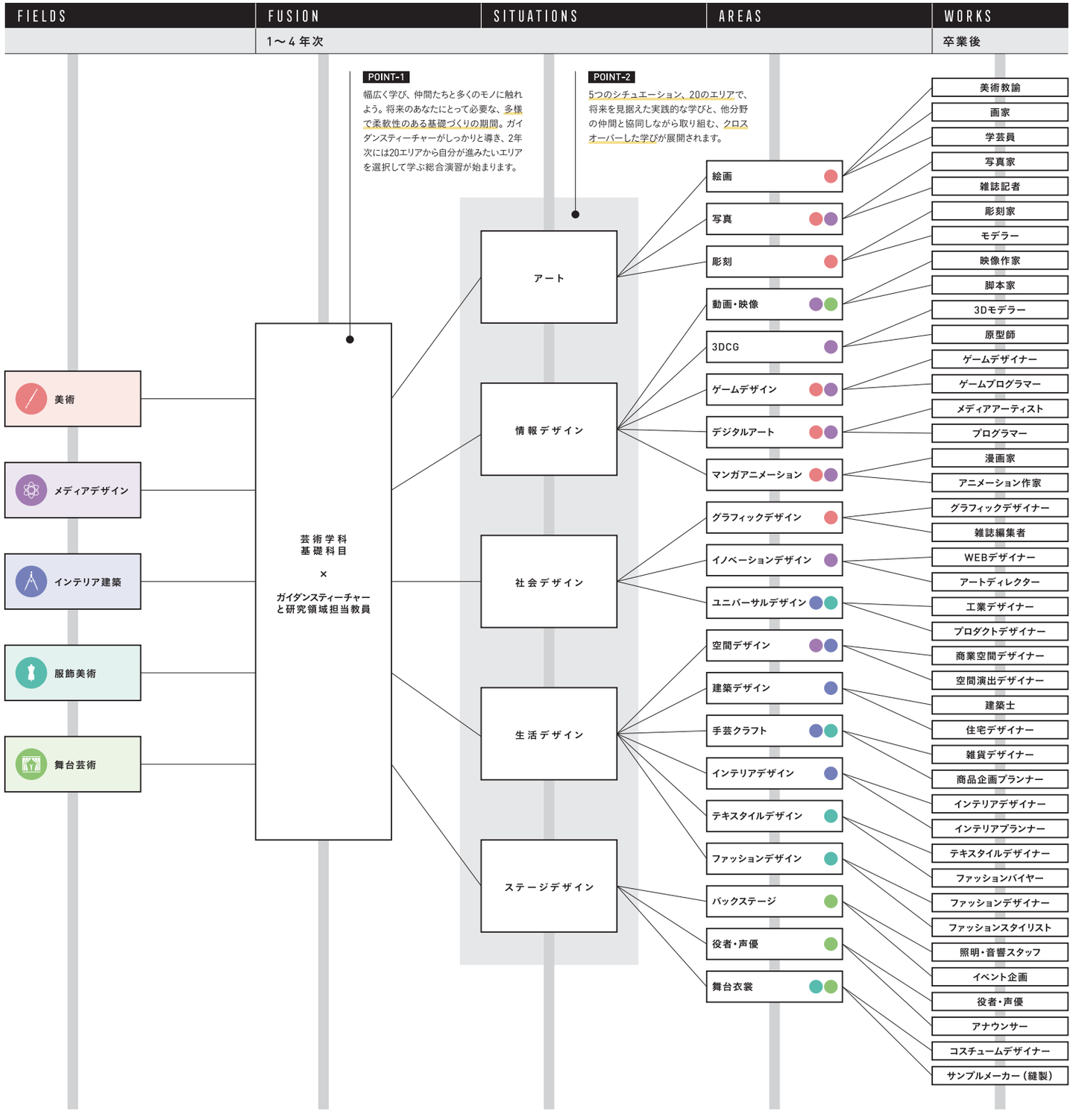
2021 VERSION UP

AREAS 研究領域

各教員は、シチュエーションから派生する、実社会と結びつきの強い研究領域を担当しています。学生は3年次になると、1・2年次の多様な経験に基づいて20の領域から1つを選び、より専門的に知識・技術を深めていきます。

WORKS 卒業後の職種

4年間の学びを通じて社会に役立つ創造力や協調性を身につけ、卒業生は多彩な職種で活躍しています。すでにめざす職業が明確な場合は、ここから遡って4年間の歩み方をイメージしてみましょう。



将来へ導く4つの強み

STRONG POINTS

長い年月をかけて確立してきた、

「なりたい！」の実現を

サポートする万全の体制。

就職率は高水準で推移。資格取得に向けたサポートも万全で、幅広い業種の就職先が自慢です。

■就職率

2017年度 100%

2018年度 87.5%

2019年度 89.5%

A R T

■取得できる免許・資格・検定

学芸員任用資格
社会教育主事任用資格（社会教育士）
中学校教諭 I 種免許状（美術）
高等学校教諭 I 種免許状（美術）
アドビ認定アソシエイト（ACA）：Photoshop CC
アドビ認定アソシエイト（ACA）：Illustrator CC
<国家資格> 一級建築士（実務経験 4 年受験）※
<国家資格> 二級建築士（実務経験 0 年受験）※
商業施設士受験資格
インテリアプランナー（必要実務経験年数短縮）
フォーマルスペシャリスト認定試験ブロンズライセンス

建築士対策講座（卒業生から在学生へ）

※2020年試験から、実務経験が受験時の要件ではなくなり、卒業年から受験できるように法改正されました。

■主な就職先一覧（過去3年間のデータ）

ハイテクシステム（株）、（有）デジタルプラネッツ、（株）シンプルスタイル、ヤマチユナイテッド グループ、（株）ジョンソンホームズ、（株）日本ハウスホールディングス、住研ハウス（株）、（株）鈴木東建設、岩田地崎建設（株）、（株）SDひかり工芸、（株）中原建築設計事務所、川田工業（株）、グーテノルド（株）、（株）USTRUST、（有）P&L企画、アクトコール（株）、（株）アインホールディングス、（株）ホクレン商事、長谷川産業（株）、（株）富士メガネ、（株）モロオ、（株）あいプラン、（株）ベネッセスタイルケア、極東高分子（株）、（株）和心、（株）キャン、（株）ミキハウス、（株）パル、（株）G-Style、フォーデイズ（株）、（株）ガモウ北海道、江別市セラミックアートセンター、SAPPORO FLOWER&CAFÉ、（株）グリーンリボン、（株）ステージアンサンブル など

将来へ導く4つの強み

POINT 1

少人数制の学び

少人数に設定した授業展開で、親身な指導を実現。作品制作のアドバイスも丁寧におこないます。また、1・2年次は学生1名にガイダンスティーチャー（担任）2名を配置し、学業から大学生活までを幅広くサポートします。

POINT 2

充実の環境

各分野専用の施設があり、授業中のみならず、課外時間にも自由に利用できます。「札幌円山キャンパス」のギャラリーやホールでは、ファッションショーや舞台公演、美術展などを開催します。

詳しくはP17へ

POINT 4

基礎から応用まで

「芸術理解」から積み重ね、「総合・統合」に至るまで、芸術の学びを基礎から応用へとスムーズに深められるカリキュラムです。「就業力養成科目」では、4年間の学びを卒業後の将来に結びつけるための力を養います。

POINT 3

豊富な実践の機会

自治体や企業、各種団体と協力した地域の活動やイベントにも積極的に参加。在学中から社会へ飛び出すことで、社会人になるための素養を身につけながら、芸術の学びを深めていきます。

詳しくはP19へ

芸術学科のカリキュラム

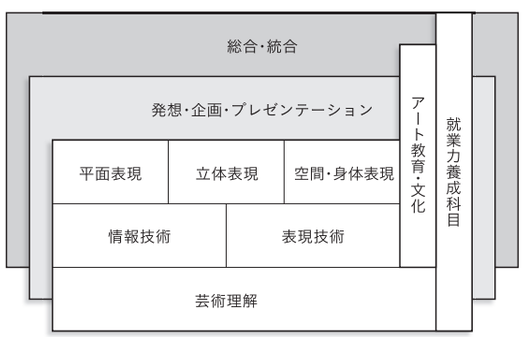
カリキュラム構成

3・4年次

専門分野を選択し、自分の道へ

1・2年次

芸術の基礎を身につける



美術分野

FIELD OF ARTS

密度の濃い

少人数教育で、

豊かな表現者になる

充実した制作スペースで、密度の濃い少人数教育を展開。絵画、彫刻、グラフィックデザイン等の科目において描写力や造形力などを磨き、多様なアートシーンで活躍できる人材を養成します。また、美術の教員養成にも力を入れています。学生たちは道展や全道展、新道展、道展 U21 などに積極的に出品し、高い評価を得ています。

A
B C
D E

PICK UP

A.『希望』山本 由紀菜

テーマは「憂鬱の中の希望」です。光の表現や色彩の効果を 4 年間の学びの成果として出しました。この作品には「美術分野」のデッサン力と「メディアデザイン分野」の映像リテラシー、「インテリア建築分野」の構想力が活かされています。

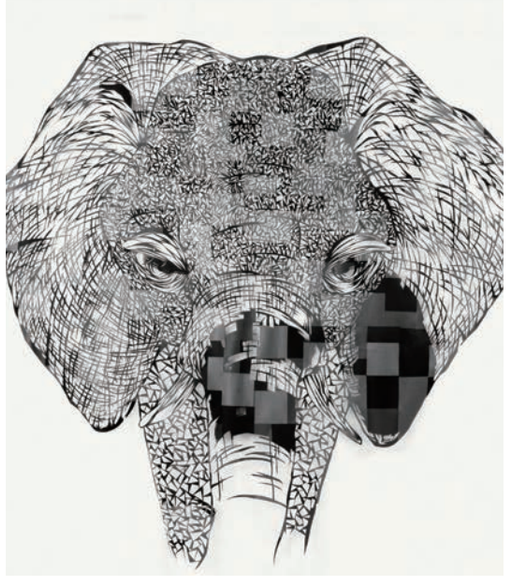
クロスオーバーした分野

B.『ホショク』新田 のんの

C.『守り人』竹田 しおり

D.『息を呑む』中谷 空

E.『多趣味のアイデンティティ』田中 七海



メディアデザイン分野

FIELD OF MEDIA DESIGN

IT 技能とデザイン力を

兼ね備えた

創造者になる。

コンピュータグラフィックス、デジタル映像、プログラミングなどの技能と、Web デザインや映像論、クリエイティブシンキングといった知識の両面をバランスよく学ぶことができます。授業やイベントを通じた学外との接点も多く、各分野のプロと共創するプロセスを体験しながら、ビジネスの現場で広く活用できる実践力を養います。

A | B | C

D

E | F

PICK UP

A.「UHA 味覚糖 素材のまんま かぼちゃコロッケのまんま パッケージデザイン」
〜北海道和寒町、UHA 味覚糖、北翔大学 産学連携プロジェクト〜
阿部 美采樹、林 京花、髙橋 柚名、佐藤 恋、高野 美和、伊藤 千晶、藤田 由

デザインのテーマ・コンセプト企画から、手描きによるパッケージイラスト、アドビイラストレーターによるレイアウトデザインなど美術分野とメディアデザイン分野の知識・技術を用いて制作しました。

クロスオーバーした分野

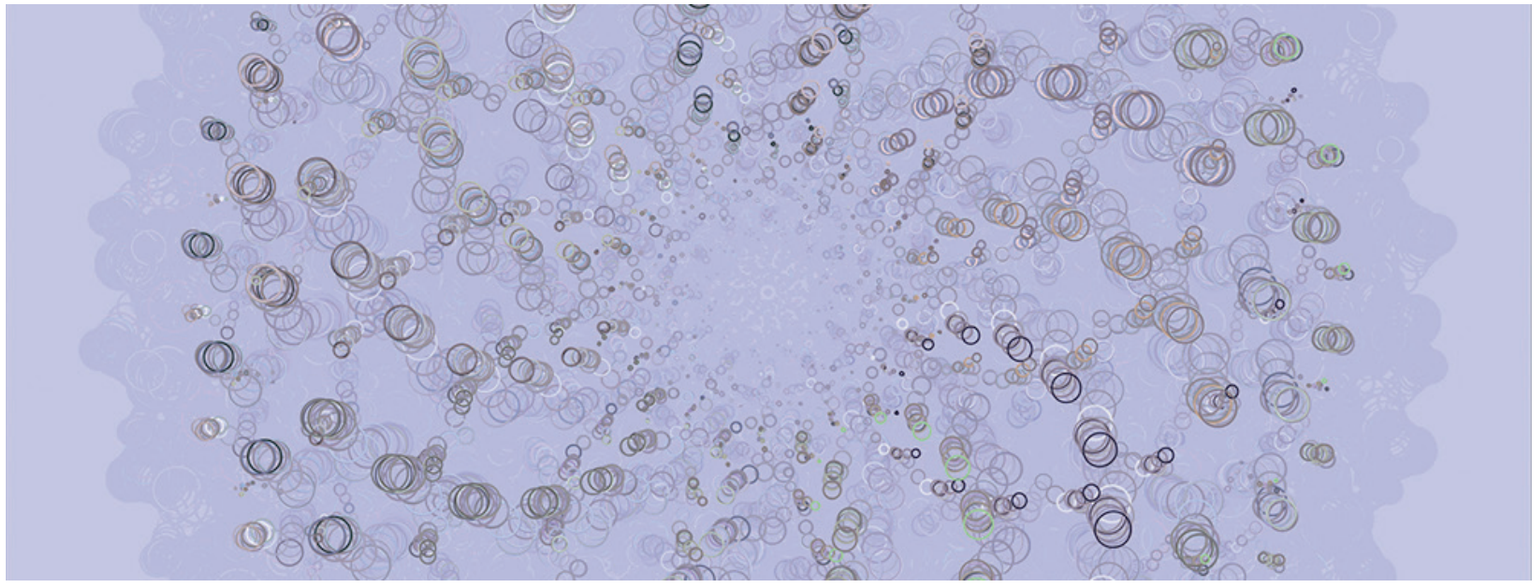
B.『ゐ』松田 拓久

C.『アフリカ ブルキナファソ ナショナル野球チーム ユニフォームデザイン』
佐藤 恋、伊藤 千晶、藤田 由

D.『遊』皆上 惟

E.『君の夜』竹原 野乃子

F.『DEADLINE』氏家 諭



インテリア建築分野

FIELD OF INTERIOR DESIGN

基礎から

段階的に学び、

暮らしの提案者になる

誰にとっても使いやすく居心地のいいユニバーサルデザインの理論に基づき、インテリアや建築を提案・設計する能力を基礎から学びます。スケッチや模型製作、CAD 設計を体験しながら、表現力、構想力、実践力を身につけていきます。所定の単位修得により、二級建築士（実務経験０年）、一級建築士（実務経験４年）の受験資格も取得できます。

A B
C D
E F

PICK UP

A.『おおまちアートハウス』大脇 久美

苫小牧市大町地区に、地域に根差したアート活動を行うための低層複合施設を提案した計画案です。複数の小さな中庭と迷路のような路地空間があり、アーティスト・イン・レジデンスの想定も入れ、住民やアーティストが気軽に交流できる場や宿泊施設を設計しています。

クロスオーバーした分野

B.『好きを広げるマルチスペースのある集合住宅』佐々木 美帆

C.『江別市複合庁舎の提案』永野 晴基

D.『“新さっぽろアクアタワー” 水族館併設型複合施設の提案』佐々木 拓人

E.『札幌市厚別区青少年科学館公園の再開発提案』越智 一将

F.『町屋カフェと住宅』安田 一気

服飾美術分野

FIELD OF FASHION ART

歴史ある学びを活かし、

実践力の高い

美の探求者になる

本学創立時から80年の歴史を誇る服飾美術教育の積み重ねを活かし、これまで以上に充実したカリキュラムを実現。縫製やデザインの習得に加え、素材づくり、服飾文化、ビジネスなどを総合的に学ぶことで応用力が身につきます。ファッションショーの企画、構成、演出などを通じて他者とのコミュニケーションを図り、机上から実践へと学びを展開していきます。

A B D
C E
F G H

PICK UP

A.『siiick!!!』浅野 茉衣香

4年間の集大成として、パラフィリア（異常性癖）をテーマに「露出狂」「動物性愛」「舞踏愛好」「異装愛」「筋肉性愛」を表現しました。研究テーマである布と異素材の組みあわせは、服としての違和感を普通ではないというパラフィリアの解釈に見立て、可視化させました。このことは、5分野の学びで多彩な美を引き出す表現力が集結した作品になりました。

クロスオーバーした分野

B.『Pretty Guardians』佐藤 楓

C.『Existence』上野 槙也

D.『第57回 技能五輪全国大会 洋裁の部門／北海道代表』齋藤 亜憂香

E.『ファミリープロジェクト2019 今金コレクション』

F. N1モードグランプリ2019 グランプリ受賞『Spooky』明石 知巳

G. N1モードグランプリ2019 準グランプリ『continuous』浅野 茉衣香

H. N1モードグランプリ2019 NDC賞『Physical modeling』浅野 茉衣香

舞台芸術分野

FIELD OF PERFORMING ARTS

総合的かつ

実践的に学び、

舞台のプロフェッショナルになる

バックステージスタッフから演技者まで、舞台芸術にかかわるプロフェッショナルを養成します。講師陣には道内で活躍する現役の一流スタッフをそろえ、本格的なホールを活用しながら総合的かつ実践的に指導。これらの学びを通して身につけることができるコミュニケーション能力や、チームとして協働できる能力は、舞台芸術分野に限らず、一般企業でも非常に重視されている能力です。

A B C
D E
F G H

PICK UP

A. 4 年目公演 Vol.14『フローズンビーチ』｜作：ケラリーノ サンドロビッチ

11 月公演に「フローズン ビーチ」を選びました。照明や音響、舞台美術、小道具、衣裳・メイク、そして制作（広報宣伝活動）。4 年間の集大成として行われ、すべての分野の学びが活かされています。

クロスオーバーした分野

B. 2 年目定期公演 Vol.30『人の力を超えるもの』
作：ビョルンスチェルネ ビョルンソン

C. 3 年目公演 Vol.14『表に出ろいっ』｜作：野田 秀樹

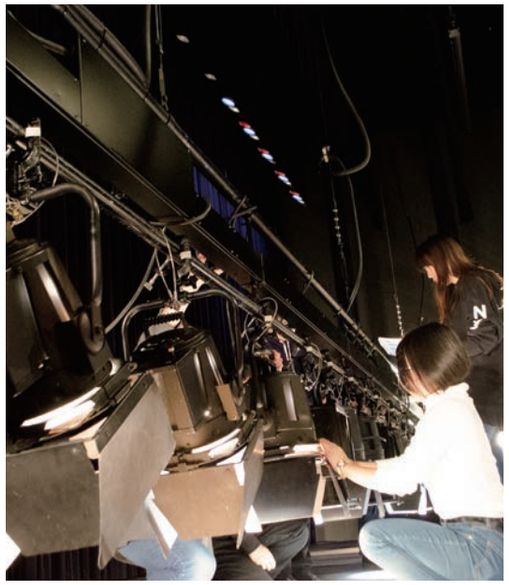
D. 特別公演『冬の馬』｜作：清水 邦夫

E. 3 年目公演 Vol.11『まほろば』｜作：蓬莱 竜太

F.『照明仕込み』｜バックステージ研究 I・II（授業）

G.『傷メイク』｜特殊効果（授業）

H.『韓国舞踊』｜舞踊研究（授業）

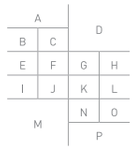


施設／設備

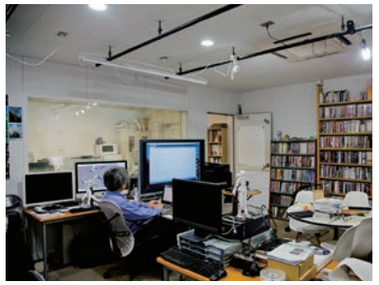
FACILITES

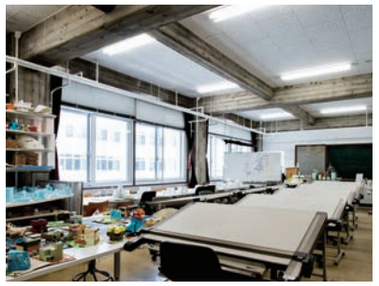
スキルアップに最適な環境を用意。
学びたい気持ちに応える
環境が整っています。

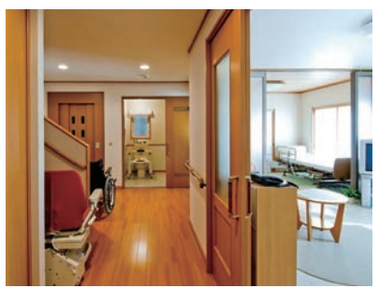
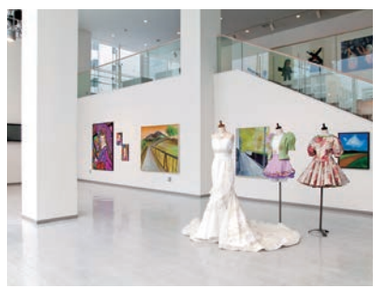
めざす将来に向けたスキルアップに最適な環境を、分野ごとに用意。授業中はもちろん、空き時間や放課後などに使用することもできます。個々の目標を実現するための施設・設備が充実しています。



- A. オーディトリアム（多目的ホール）
- B. ドローイングスタジオ
- C. 彫刻スタジオ
- D. 絵画スタジオ 1・2
- E. 陶芸スタジオ
- F. エディティングスタジオ 1
- G. エディティングスタジオ 2
- H. 情報スタジオ・コンピュータ教室
- I. インテリアスタジオ 1・2
- J. 木工室
- K. CAD 実習室
- L. 第 1・2・3 被服室
- M. 多目的ホール〈札幌円山キャンパス〉
- N. ユニバーサルデザインルーム〈札幌円山キャンパス〉
- O. ギャラリー A〈札幌円山キャンパス〉
- P. ギャラリー B〈札幌円山キャンパス〉





年間行事

EVENT

5分野の共創。

創作と発表を繰り返した分だけ、

求めるかたちが見えてくる。

※2019年度 イベント(事業)

Spring
- 4 北翔舞台芸術3年目公演
- 4 北翔舞台芸術4年目公演

Summer
- 6 北翔舞台芸術2年目定期公演
- 6 学生交流会
- 7 北翔舞台芸術自主研修
- 7 芸術鑑賞会
- 8 北翔舞台芸術東京研修
- 8 北翔舞台芸術1年目試演会
- 8 北翔舞台芸術特別公演

Autumn
- 9 大学祭展覧会・ファッションショー
- 10 北翔舞台芸術2年目試演会
- 10 いっしょにね！文化祭
- 10 今金コレクション2019
- NoMaps2019ローカル・クリエイターズ・コレクション
- カナリヤ本店ウインドウディスプレイ
- TEDxSapporo
- 11 北翔舞台芸術4年目公演
- 11 北翔舞台芸術3年目公演
- 第5回江別市中高美術部合同展

Winter
- 12 第52回学外発表会
- 合同作品展
- 芸術学科卒業制作3分野学内展
- 平岸高等学校との連携ファッションショー
- 1 北翔舞台芸術2年目定期公演
- 1 卒業制作展
- 2 風呂敷フェスティバルオンステージ
- TEDxYouthSapporo
- 北翔舞台芸術卒業公演

A. 北翔大学 札幌円山キャンパスで開催『TEDxSapporo 2019』

B. 卒業生と在学生による二人展『カランコエ』

C. 国際交流事業『レザーアート特別講座』

D.『第52回 学外発表会』において、全5分野が関わったイベントを同時開催

E.『卒業制作展』

F. 日本ハムファイターズファイターズ開幕戦『チョークアート』

G. NoMaps『北海道展示映像デザインコンペ』

H. カナリヤ札幌本店『ウインドウディスプレイ』

I.『6月 学生交流会』

J. 北翔舞台芸術100回目記念公演『火のようにさみしい姉がいて』

教員一覧

FACULTY MEMBER

芸術学科 学科長・教授

村松 幹男

Mikio Muramatsu

『羊たちの挽歌〜君に分かるかい、鞄いっぱいに詰まったこの手紙が…〜』

専攻／演劇
担当／舞台芸術概論、俳優論

1985 年北海道大学経済学部経済学科卒業、経済学士。専門は舞台芸術（演劇）で、舞台芸術創造（主に演劇）を活用した地域貢献・人材育成の方法論を臨床的に研究。1992 年「Theater・ラグ・203」旗揚げ、代表、役者・作・演出。日本演劇学会に所属。

教授

林 亨

Toru Hayashi

『心を浮かべて（みずのもり）』

専攻／絵画、美術科教育
担当／絵画Ⅰ、美術科教育法Ⅲ

1984 年筑波大学大学院修士課程芸術研究科修了。専門は絵画制作、美術教育。国内外の様々な展覧会で絵画作品を発表。また、アートと社会の連動について実践的に研究。美術科教育学会、日本・美術による学び学会、北海道芸術学会などに所属。

教授

大信田 静子

Shizuko Oshida

『ウェディング・ドレス ー 娘の門出 ー』

専攻／テキスタイルデザイン、服飾造形
担当／創作テキスタイル、ファッション文化論

2016年北翔大学大学院生涯学習学研究科生涯学習学専攻修了。専門は、テキスタイルデザイン、創作テキスタイル、ファッション造形実習などで素材や手芸的手法を活用した民族衣装、子供服や高齢者の体型に適した衣服などの研究。服飾文化学会、日本人間工学会、日本老年社会科学会、地域創成学会、日本介護福祉学会に所属。

教授

松澤 衛

Mamoru Matsuzawa

『ある音の風景』

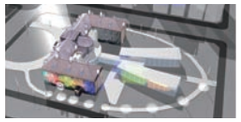
専攻／3DCG、Web、写真、映像
担当／3Dグラフィックス Ⅰ・Ⅱ

1996 年 北海道東海大学大学院 芸術学研究科修了。専門は、コンピュータ・グラフィックス、映像で、デジタルとアナログを融合した新しいメディア表現の研究。南は沖縄県立芸術大学と連携した活動を展開中。

教授

小室 晴陽

Haruhi Komuro



『創造的活動拠点の提案』（札幌国際芸術祭2014・資料館リノベーションコンペ Ⅰ次審査選出作品展展示作品）

専攻／建築設計、建築CAD・CG
担当／空間デザイン基礎、CAD設計

博士（工学）、一級建築士。NTT建築部・北海道職業能力大学校教授を経て現職。専門は建築計画・建築ビジュアライゼーション。札幌メディアアーツラボ特別研究員として創造都市さっぽろ推進事業に関わる。日本建築学会・映像情報メディア学会等所属。

准教授

浅井 貴也

Takaya Asai

『"Cross Over" TEDxSapporo 2019 キービジュアル』

専攻／コンピュータグラフィックス、メディアデザイン
担当／デジタルイメージ Ⅰ・Ⅱ、クリエイティブシンキング

米国アカデミーオブアート大学・大学院コンピューターアート専攻（MFA）、専門はCG、プレゼンテーションデザイン、デザイン思考を用いた創造力開発など。社会や企業でデザインを用いたイノベーション実践指導を行っている。

教授

千里 政文

Masafumi Chisato

『小規模多機能型ホームの設計』

専攻／福祉住環境、インテリアデザイン、建築
担当／インテリアデザイン、ユニバーサルデザイン

修士（芸術学）、一級建築士。建設会社経営・北海道女子短期大学講師を経て現職。専門は建築計画・インテリアデザイン・ユニバーサルデザイン・防災教育。北海道から福祉環境アドバイザー・福祉教育アドバイザーを任命。日本建築学会・地域創成学会等所属。

准教授

森井 綾

Ryo Morii

林檎園日記・北翔舞台芸術 特別公演
『花いちもんめ』

専攻／グラフィックデザイン
担当／デジタルデザイン Ⅰ・Ⅱ、グラフィックデザインⅡ

1987 年北海道教育大学札幌分校教育学部特設美術学科卒業。専門はグラフィックデザイン・アドバタイジングなど。

教授

冨田 玲子

Reiko Tomita

『ジャポニズム』

専攻／ユニバーサルファッション、服飾造形
担当／ファッションコーディネート、ファッションデザイン概論

2016 年北翔大学大学院生涯学習学研究科生涯学習学専攻修了。専門は、ファッションデザイン。ユニバーサルファッションを主眼においた世代間交流事業の展開・研究を行っている。服飾文化学会、日本老年社会科学会、地域創成学会、日本デザイナークラブ北海道等に所属。

講師

山下 圭介

Keisuke Yamashita

『Re: draw』

専攻／彫刻、立体造形
担当／彫刻 Ⅰ・Ⅱ、美術科教育法Ⅳ

2016 年愛知県立芸術大学大学院博士後期課程修了、博士（美術）取得。専門は彫刻、空間表現。環境や空間に合わせて様々な形態を用いて作品を発表。美術と地域及び学校教育との関わりについて研究。大学美術教育学会、国画会に所属。

57年の軌跡

TRAJECTORY OF 57 YEARS

北翔の芸術は1963年
「被服科」のみで開学した
北海道女子短期大学からはじまった

1963
北海道女子短期大学開学
被服科開設

工芸美術科 染色実習（1984）

1965
被服科を服飾美術科に科名変更

1966
工芸美術科、体育科開設

工芸美術科 卒業制作展（1982）

1967
専攻科「服飾美術専攻」開設

1968
専攻科「工芸美術専攻」開設
服飾美術科を「服飾美術コース」と「家庭科学コース」の2類型とする

服飾美術科 作品発表会（1982）

1973
創立10周年記念式典挙行

1983
創立20周年記念式典挙行

1992
カレッジホール「PAL」竣工

服飾美術科 服飾美術コース
裁断技法（CAD）（1992）

1993
創立30周年記念式典挙行

服飾美術科 服飾美術コース
造形デザイン（ディスプレー）（1990）

1996
服飾美術科家庭科学コースを生活文化コースに名称変更

1997
北海道女子大学開学、人間福祉学部介護福祉学科／生活福祉学科開設、短大名称を北海道女子大学短期大学部に変更、服飾美術科を服飾美術学科、工芸美術科を工芸美術学科、保健体育科を保健体育学科に科名変更

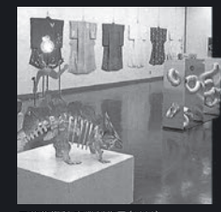
工芸美術学科 デッサン（2002）

工芸美術科 実技特講・油彩（1991）

2000
大学名称を北海道浅井学園大学に変更、短期大学名称を北海道浅井学園大学短期大学部に変更、生涯学習システム学部、健康プランニング学科／芸術メディア学科開設

2005
大学名称を浅井学園大学、浅井学園大学大学院、浅井学園大学短期大学部に変更

2007
大学名称を北翔大学、北翔大学大学院、北翔大学短期大学部に変更



工芸美術科 卒業制作展（1989）

2014
北翔大学教育文化学部教育学科／芸術学科／心理カウンセリング学科開設

TO THE FUTURE